

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	03	03	0401	湯口中学校校舎改築事業費	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-2	学校教育の充実			
	施策	4	教育環境の充実			
目的	学校施設の環境整備					
対象	湯口中学校施設					
意図	学校の適正規模を見通し、安全・快適な教育環境を提供する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 設計等業務 実施設計及び校舎棟改築工事監理業務 <input type="checkbox"/> 工事請負業務 特別教室棟解体工事 校舎棟改築（建築）工事 校舎棟改築（電気設備）工事 校舎棟改築（機械設備）工事 <input type="checkbox"/> 事務業務一式						
市民参画の有無 [有 関係団体等からの意見聴取]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 実施設計進捗率	%		計画	75.0	100.0	
			実績	75.0	100.0	
② 湯口中学校改築事業進捗率	%		計画	5.0	40.0	
			実績	2.0	33.0	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 耐震改修済中学校数	校		目標	11	11	
			実績	9	9	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
文部科学省では、平成27年度末までに全ての学校施設の耐震化を完了することを目標としており、各自治体もその目的達成を求められているため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・学校の設置については、教育基本法に基づき市が設置者となり行うものである。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・市内全学校施設を耐震化するため計画的な改築を行っている。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・シンプルな構造を基本にしながら学校施設としての機能を確保することとし、事業費の削減に取り組んでいる。 ・大型の新規追加事業であり人員の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・学校施設の改築については、市が主体的に行うものである。
	受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
当初から改築することを前提としており、それに伴い、大規模な修繕等を実施してこなかったことから、早期に改築を進める。また、生徒数の減少が今後進んでいくことを踏まえ、将来を見越した施設規模とするものである。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	03	03	0401	湯口中学校校舎改築事業費

単位：千円

		26年度決算額(A)	27年度決算額(B)	28年度現計予算額	決算額前年比(B-A)
事業費		8,227	609,769		601,542
財源内訳	国・県		98,791		98,791
	地方債	3,700	490,100		486,400
	その他				
	一般財源	4,527	20,878		16,351

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 25 年度 ~ 平成 29 年度]

部重点施策における目標
夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯
湯口中学校は、昭和44年から昭和47年にかけて建築された学校であり建築後46年が経過し、老朽化が著しい状態であること、改築を前提としていることから耐震補強を行っていないため安全確保のため早期に状況を改善したい。

事業概要
○設計等業務
実施設計及び校舎棟改築工事監理業務
○工事請負業務
特別教室棟解体工事
校舎棟改築（建築）工事
校舎棟改築（電気設備）工事
校舎棟改築（機械設備）工事
○事務業務一式

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・同一敷地内で改築を行うことから、学校活動に配慮しながら事業を進める必要がある。
・学校施設として使用しなくなった場合に、他の用途に改修しやすい構造に配慮する。

担当部署 部名 教育部 課名 教育企画課 担当係長 白藤 清和 内線 9-30-322

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

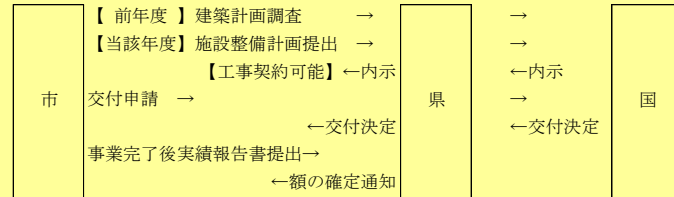
湯口中学校校舎改築事業

●事業概要

校舎：RC造2階建 2,823㎡ / 建築単価見込≒294,404円/㎡
屋体：RC造一部S造1階建 1,581㎡ / 建築単価見込≒362,808円/㎡

●財源

☆環境改善交付金（危険改築）事業 補助基準額×1/3、起債100%（うち合併特例債95%）



●事業費見込み

※ 別紙による

平成 27 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	03	03	0401	湯口中学校校舎改築事業費

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

項 目	今回補正							
	H25 A	H25→H26 繰越 B	H26 現計 C	H27→H26 前倒し D	H26合計 E(C+D)	H28 F	H29 G	H25-H29(計) H(A+B+E+F+G)
現況測量・用地測量	5,005							5,005
基本設計		17,280						17,280
地質調査			4,231		4,231			4,231
実施設計(校舎等)				59,210	59,210			59,210
屋外環境実施設計			3,996		3,996			3,996
補助監理				13,154	13,154	16,720	7,300	37,174
解体工事				35,630	35,630	121,760	12,204	169,594
敷地造成工事							25,000	25,000
校舎改築工事				494,785	494,785	329,857		824,642
屋内運動場改築工事						344,160	229,440	573,600
自転車置場整備工事							14,000	14,000
屋外環境整備工事							75,000	75,000
クラブハウス改築工事							30,000	30,000
屋外トイレ改築工事							7,000	7,000
駐車場等整備工事							25,000	25,000
屋外照明設置工事							21,000	21,000
学校・体育備品整備						36,125		36,125
建築確認等手数料				728	728	170	160	1,058
備品等移設業務				2,490	2,490	3,558	500	6,548
その他				3,772	3,772	3,636	3,225	10,633
合計	5,005	17,280	8,227	609,769	617,996	855,986	449,829	1,946,096
国庫				98,791	98,791	122,225	57,101	278,117
起債(地方債)			3,700	490,100	493,800	655,700	273,400	1,422,900
一般財源	5,005	17,280	4,527	20,878	25,405	78,061	119,328	245,079

※国庫：うち基本設計分 H25繰越明許 (6,181)

※国庫：うち実施設計分 H26現計 (19,736)